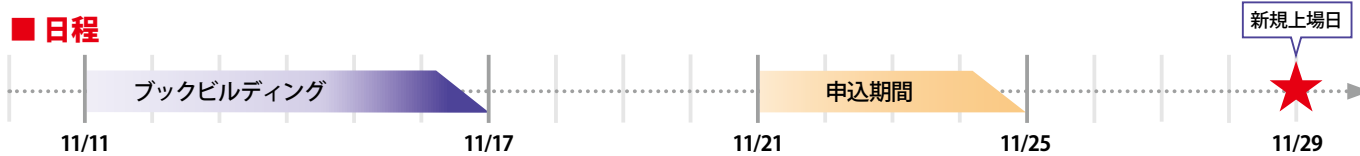


IPO銘柄 スタジオアタオ (3550・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3550	100株	公募: 5.10万株 売出: 61.00万株 (OA6.61万株)	2,930円~3,030円 (21.6倍)	SMBC日興証券



ATAOブランド中心にオリジナルバッグ等を企画・販売

■ 事業内容

神戸のファッションエリア旧居留地から始まったブランド「ATAO (アタオ)」を中心に、バッグ、および財布等の企画、販売を行う。「ATAO」は「正統派ラインのトレンチコートに似合うバッグ」をコンセプトにデザインされたブランド。「ATAO」のほか、フランス・パリのオペラ座近くにギャラリーを持つ「IANNE (イアンヌ)」、イタリア人ファッションデザイナーのジュリアーナ・カメリーノが創業したバッグを中心とした「Roberta di Camerino (ロベルタ ディカメリーノ)」も手掛ける。「Roberta di Camerino」はマスターライセンスである三菱商事から商標の使用、製造輸入販売に関する権利の受託を受けて国内展開を行っている。販売は国内8店の直営店とインターネット販売で、直近ではネット販売比率が6割を占める。ファッションブランドビジネス事業の単一業態。

■ 特徴

「ATAO」は、チョコレートをモチーフにした市松模様やヴィンテージ感あるスウェードなど、使うほどに愛着を持てる素材を選んでいる。財布市場ではL字ファスナーに特徴のある「Limo (リモ) シリーズ」など、ブランドイメージを有しつつ機能性も重視したバッグや革小物を展開している。

アナリストコメント

■ 定量分析

17年2月期の連結経常利益は前期比72.3%増の4億3,400万円を計画する。O20 (オンライン・ツー・オフライン) の取り組みにも力を入れており、小売業として非常に高いネット販売比率はさらに上昇傾向にある。ブランド力の向上によって収益力も高まっている。

■ 定性分析

成長性の高い小売セクターで、ブランド力を高めてきている成長株。IPOマーケットにおける小売セクターの人気はそれほど高くないものの、ネット販売比率が非常に高い会社だけに、普通の小売株よりも高評価を得ることが可能とみる。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約22億円。ベンチャーキャピタルの保有はないものの、新興市場上場案件としては荷もたれ感がある。3案件同日上場による資金分散も懸念されるだけに、需給面にはやや不安を抱えることになりそうだ。(小泉健太)

■ 類似企業

スタジオアタオ(3550・マザーズ)	予想PER21.6倍 (仮条件上限)
サマンサタバサジャパンリミテッド(7829・マザーズ)	予想PER39.9倍
サクスーパー ホールディングス(9990・東証1部)	予想PER11.7倍

■ 引受証券

SMBC日興証券、大和証券、みずほ証券、SBI証券、マネックス証券、いちよし証券、岩井コスモ証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年2月期(実績)	1,108	76.7	175	32.9	117	43.2	58.8	0.0
16年2月期(実績)	1,944	—	252	—	157	—	78.8	0.0
17年2月期(会社予想)	2,731	40.5	434	72.3	282	79.4	140.4	0.0

※ 16年2月期から連結決算。16年9月に株式分割(1株→1,000株)を実施。15年2月期、16年2月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年2月期	2,000	467	308	10	154.0	65.9	47.2
16年2月期	2,000	850	465	10	232.8	54.7	40.7

※ 15年2月期、および16年2月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	黒越 誠治	795,000	38.48
2	瀬尾 訓弘	600,000	29.04
3	セブンオー	400,000	19.36
4	九六	205,000	9.92
5	長南 伸明	62,000	3.00
6	籠谷 雅	4,000	0.19

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	瀬尾 訓弘
取締役 事業部ゼネラルマネージャー	籠谷 雅
取締役 経営戦略室長	長南 伸明
取締役 事業商品部管理担当	柏木 優子
取締役	松本 浩介
取締役	森下 俊光
監査役(常勤)	田中 利幸
監査役	松尾 芳憲
監査役	須田 仁之

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。